

<Japan Buy-out Deal Conference in 千葉>

企業価値向上シンポジウム**～事業再編、事業承継、経営革新における戦略的視点～**

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、千葉にて、「企業価値向上シンポジウム」を開催することになりましたのでご案内させていただきます。企業競争力の強化のための戦略的視点が重要になってきている中で、千葉県全域と東京都江戸川区の企業経営者の皆様に有益な情報をお伝えできればと思います。

近年、M&A (mergers & acquisitions) に加え、バイアウトの手法が企業価値向上のための選択肢として認識されつつあります。また、地方企業が経営基盤の強化や生産性の向上を目指して M&A やバイアウトの取り組みを行うケースが増えており、多数の事例が出てきています。この十数年の間に、関東地区を含む東日本地域においても、製造業（自動車部品、一般機械、電子部品、精密金型、電気機器、工具、非鉄金属、繊維、日用品、資材、食品、医薬品、化学など）、小売・卸売業（食品スーパー、アパレルショップ、専門店、専門商社など）、サービス業（外食チェーン、教育サービス、医療・福祉・介護サービス、法人向けビジネス・サービスなど）、運輸・物流、建設・不動産など多様な業種で事例が登場しました。具体的には、大企業の事業再編・子会社独立にバイアウトの手法が活用された事例、中堅・中小のオーナー企業の事業承継にバイアウトの手法が活用された事例、多様なネットワークを活用して海外事業を強化した事例、再生企業が資金調達を実施して抜本的な経営改革を行った事例、などが出てきています。本シンポジウムでは、バイアウトの手法と事例を分かりやすく解説します。

経営改革を行いさらなる成長・発展を目指す企業の経営者、アジアを中心とする海外に拠点を有する企業の経営者、後継者問題を抱える中堅・中小のオーナー企業の経営者、業績低迷からの脱却を目指す企業の経営者、戦略的 M&A や事業再編を検討している企業の経営者などにお勧めです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催要領**【日時】**

2018年11月20日（火）13:10～17:30（12:40 受付開始）

【会場】

京成ホテルミラマーレ6階ローズルーム（千葉市中央区本千葉町15-1）京成線千葉中央駅徒歩約1分・JR千葉駅徒歩約8分

【参加費】

1名 23,000円（税込）

【参加対象】

- 未上場オーナー企業の経営者、上場企業（子会社を含む）の経営者（経営企画担当、財務担当、社長室など）
- 地域金融機関（地方銀行、信用金庫など）、大手銀行、証券会社 ■弁護士、会計士、税理士などのプロフェッショナル

【お申し込み方法】

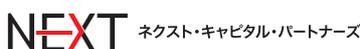
申込書での FAX 送信か Web サイト上（<http://www.jbo-research.com/>）で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

Lead sponsor**Co-sponsors**

エンデバー・ユナイテッド株式会社



Advantage Partners



FRONTIER MANAGEMENT INC. フロンティア・マネジメント株式会社



主催：株式会社日本バイアウト研究所

協力：株式会社三菱 UFJ 銀行 株式会社中央経済社

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com（担当：杉浦）

プログラム

受付開始 (12:40)

基調講演 (13:10-13:50)

テーマ：企業価値向上実現のための積極的な他力活用と実行上の論点 ～中堅・中小企業の事業再編と非連続的な成長の実現に向けて～
株式会社 KPMG FAS パートナー 鶴飼成典氏

<概要>

企業を取り巻く経営環境は、変化のスピードが早くなっているに止まらず、破壊的なイノベーションが企業経営の根幹を揺るがす状況を作り出している。また、長期的な視点における日本市場の限定的な成長余地を背景に、新たな市場を求めた事業のグローバル化だけではなく、企業経営そのもののグローバル化が必須要件になりつつある。このような状況を踏まえて、企業がプロアクティブに M&A やバイアウトのケイパビリティをいかに活用すべきか、そのポイントや留意点について概説する。

マーケット・レビュー (13:50-14:30)

テーマ：関東地区を中心としたバイアウト案件の動向 ～事業再編、事業承継、海外展開の事例を中心として～
株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

製造業（自動車部品、産業機械、電子部品、精密金型、プラスチック成形、プリント基板、電気機器、化学、繊維、資材、木製品、食品など）と小売・サービス業（外食チェーン、アパレルショップ、医療・介護サービス、教育サービス、その他）を中心としたバイアウト案件の動向について解説する。特に、大企業の事業再編による子会社・事業部門の独立を伴う案件、オーナー企業の事業承継や資本再構築を伴う案件、アジアを中心とする海外事業の強化が実施された案件について、具体的な事例を交えて説明する。

休憩 (14:30-14:40)

事例紹介①インタビュー・セッション (14:40-15:15)

テーマ：従業員承継の包括的な支援による第二創業型バイアウト
～野生と科学の融合によりさらに強い組織体制へ～
株式会社スプラウトインベストメント 代表取締役 兼 代表執行役員 藤嶋健作氏
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 マネージングパートナー 伊藤尚毅氏
(株式会社スプラウトインベストメント 代表取締役)
聞き手：株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

ますます成熟化し競争が激化する国内飲食業界にあつて、強い業態開発力とそれを支える食材調達力を武器に順調な発展を遂げてきたスプラウトインベストメント。これまでは、経営管理面を一手に取り仕切る創業オーナー会長と現場のオペレーションを統括する藤嶋代表による二人三脚の経営体制ではあったが、2017 年末の資本業務提携の実現により資本構成とともに経営チームも一新された。勤と経験と感性に長けた現場出身メンバーと科学的な管理手法やデータ分析の知見を有するアント出身メンバーが、互いにリスペクトし一体となって経営していくことでさらなる発展を目指していこうとする事例を紹介する。

事例紹介②インタビュー・セッション (15:15-15:50)

テーマ：アジア制覇・グローバルで業界 No. 1 への挑戦
～非破壊検査・マーケティングの総合メーカー マークテックにおける海外展開支援～
マークテック株式会社 執行役員 経営企画部長 野崎浩史氏
キャス・キャピタル株式会社 取締役パートナー 永見隆幸氏
聞き手：キャリアインキュベーション株式会社 マネージングディレクター 佐竹勇紀氏

<概要>

千葉県成田市にマザー工場を有する非破壊検査とマーケティングの総合メーカー、マークテック株式会社の海外展開支援について、当時の課題と実践について解説する。キャス・キャピタルは、「日本に強い会社をつくる」ことを目的に 2003 年に設立された会社で、近年は事業承継や海外進出支援に主眼を置き、常勤経営陣の派遣を通じた企業価値向上に注力している。マークテックに関して、キャス・キャピタルより、海外展開に長けた常勤役員を複数派遣したほか、中国とタイに相次いで工場を新設、グループ全体の生産能力を約 2.5 倍に引き上げた。最前線で現場を切り盛りした経営企画部長の野崎氏を迎え、苦難とともに会社が変わっていく様子を紹介する。

コーヒーブレイク (15:50-16:10)

パネルディスカッション (16:10-17:15)

テーマ：日本企業の次なるステージへの飛躍に向けて ～バイアウトの手法を活用した企業価値向上戦略～
株式会社マーキュリアインベストメント 取締役 事業投資部長 小山潔人氏
CLSA キャピタルパートナーズジャパン株式会社 ディレクター 石原貴之氏
エンデバー・ユナイテッド株式会社 シニアマネージャー 増田覚氏
司会者：株式会社 KPMG FAS パートナー 稲垣雅久氏

<概要>

激変する環境下において、人材不足、マーケティング・チャネルの拡大、グローバル化への対応、財務体質の強化などの経営課題を抱えている企業が多いが、M&A やバイアウトの手法はこれらの課題を解決する有力な手段となる。本セッションでは、製造業（産業財・消費財）および小売・サービス業を含む多様な業種の案件に関与しているプロフェッショナルに登壇頂いて、どのような経営課題を抱えている企業がバイアウトの対象になるのかについて紹介する。また、シンクス（木材加工機械・金属加工機械の製造・販売）、ユニメイト（各種ユニフォームの企画・販売・レンタル）、上越印刷工業（印刷）、ノーザ（医療情報処理装置の開発・製造）、甲斐食産（鶏肉処理加工）などの多彩な事例を取り上げながら、バイアウトの手法の活用意義や企業価値向上に向けたキーポイントなどについての討論を行う。

クロージング・スピーチ (17:15-17:30)

テーマ：M&A/バイアウトの手法を活用した事業再編・事業承継の実務
長島・大野・常松法律事務所 弁護士 鐘ヶ江洋祐氏
長島・大野・常松法律事務所 弁護士 宮崎隆氏